

番号	質問区分	カテゴリー	質問内容	回答
1	申込時質問	公開コンテンツの要望	インデックス管理マニュアルの基本操作動画をユーチューブにて追加して載きたいです。	JAIRO Cloud作業部会にて基本操作動画の更新作業を行っていますが、インデックスの作成や編集といった内容も含まれる予定です。
2	申込時質問	権利処理	基本的なことですみません。SHERPA ROMEOやSCPJを利用してもやはり最新情報を確認することが求められるため許諾確認に時間がかかります。また、事務局持ち回りの学協会・会議に発表された論文などで許諾が明示されていない場合の確認も返事がこないなど対応に苦慮することがあります。これらの対応に関してもうまく進める方法や対策があったらご教示いただけると助かります。また、海外英文問いあわせメールの定型例文などあったら紹介いただけると大変ありがたいです。よろしくお願いいたします	実務紹介(3)「オープンアクセスと著作権」の資料や動画をご確認いただければと存じます。 また、今後のJPCOAR Webinar等で、著作権処理の実務事例を共有する機会を設けられないか検討中です。
3	申込時質問	即時OA化対応	科研の対応	図書館総合展にて、オープンアクセス加速化事業の事例を共有する予定です。ぜひご参加をご検討ください。 https://www.libraryfair.jp/forum/2024/1296
4	申込時質問	その他	この研修会にてご質問をさせていただくことではないかもしれませんが、スペイン高等科学研究院(CSIC)が提供する「世界リポジトリランキング」について、新しい版が発表されると本学でも学内関係者にお知らせをしていますが、このランキングが、どういう基準で順位がつけられているのか、どういう機関が対象なのか(佛教大学様や龍谷大学様など京都でも有名な大学様の名前が順位にありません)、また、更新の度合いもよく分かりません。もしなにか情報をご存じでしたら教えていただけると大変助かります。どうかよろしくお願いいたします。 (この会での質問にふさわしくないのでしたらご放念ください)	ご指摘のとおりランキングの順位設定の基準は明示されていないようです。もしも情報入手されたら、ぜひメーリングリスト等での共有をご検討ください。
5	申込時質問	公開コンテンツの要望	個別登録の手順のもっと詳しい動画を挙げていただきたい。 本番移行前の古い情報ではあまり参考になりません。 その後さまざまな不備が発見され、落とし穴が見つかったのですから、それらを回避するより具体的な初心者でもよくわかるハウツーが求められていると思います。	JAIRO Cloud作業部会にて基本操作動画の更新作業を行っていますが、紀要の個別登録・一括登録、博士論文の個別登録を取り上げる予定です。
6	申込時質問	その他	今後、オープンアクセスへの対応が主流になってくると思われる。現在、リポジトリ関連の業務は、図書館の中にあることが一般的だと思うが、今後の担当配置の在り方も更新される必要がありそうです。各大学で何名ほど配置されるのが適切だと思われますか。他大学事例も参考にさせていただけるとありがたいです。	各大学、必要人員の算出及び配置は課題であり、各機関でのベストプラクティスなどを共有しながら考えていくことになるかと思われます。JPCOARでも各機関の事例共有の機会を作っていきたいと考えています。直近ですと、図書館総合展にて、オープンアクセス加速化事業の事例共有などありますので、ぜひご参考ください。
7	申込時質問	研究データ	政府の即時OA方針では論文と根拠データの登録が義務化されましたが、本学ではこれまで機関リポジトリに研究データを登録した事例がございません。先行して実施している大学様では、研究データを登録する際にどのようなメタデータ項目を入力していらっしゃるのでしょうか？	タイトル、著者名、発行日、出版者、著作権等の権利情報、DOI、URIなどの基本的な情報を入力することになるかと思われます。IRDB検索画面で「詳細検索」をクリックして「資源タイプ」の項目で「dataset」を選択して検索していただくと、他大学での登録事例を確認いただくことができます。 また、今後のJPCOAR Webinar等で先行大学の事例を共有する機会を設けられないか検討中です。
8	申込時質問	権利処理	リポジトリ登録や著作権処理にあたって、これまでに対応が難しかった事例等を具体的にご教示いただけましたら幸いでございます。 ぜひ今後の参考にさせていただきたく思います。どうぞよろしくお願いいたします。	実務紹介(3)「オープンアクセスと著作権」の資料や動画をご確認いただければと存じます。 また、今後のJPCOAR Webinar等で、著作権処理の実務事例を共有する機会を設けられないか検討中です。
9	申込時質問	広報	所属機関の教員・研究者に機関リポジトリの有用性をアピールする効果的な広報のコツや事例があれば教えていただきたいです。	今回の事例紹介や、過去の研修での事例紹介がご参考になるのではないかと存じます。 JPCOARが主催した研修・イベントの資料や動画アーカイブは下記からご確認いただけます。 https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/monthly https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/training
10	申込時質問	広報	今年度から、リポジトリに登録する論文を先生方から申請書と共に申請していただく形にしようとしています。審議する中で、J-STAGEなどで公開されている論文をリポジトリに登録する意味はあるのか？と先生から質問がありました。それなら、J-SAGEにURLリンクを張れば良いのではないかとのことでした。リポジトリに登録する意義について先生方に説明できる回答がありましたら、ご教示いただけますと幸いです。 また、リポジトリは本文のデータをPDFファイルで登録するものと思っていたのですが、URLリンクを張るという形で登録するということはあるのでしょうか？ 初歩的な質問になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。	リポジトリへの登録は、論文のオープンアクセス化のほか、大学・機関の研究成果の発信という側面もあるため、その観点から他所でOAになっている論文を登録する、という運用もありうると思われます。その観点から、他所で掲載されている論文についてはリポジトリに本文を登録せず、メタデータのみを登録してリンクを貼るといった運用をしている大学・機関も見受けられます。
11	申込時質問	広報	学内広報の方法を知りたい(全体広報、研究者向け、他部署職員向け)	今回の事例紹介や、過去の研修での事例紹介がご参考になるのではないかと存じます。 JPCOARが主催した研修・イベントの資料や動画アーカイブは下記からご確認いただけます。 https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/monthly https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/training
12	申込時質問	ライセンス	現在リポジトリで紀要論文を主に公開しているが、ライセンス情報を入力していない。紀要編集委員に提案したらいいのかと思うが、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスを見ても紀要ではどれが適当なのか分かりにくい。他の大学の紀要論文でよく付けられているライセンスはあるのでしょうか。	紀要の編集委員の方に、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスのそれぞれの種類についてご説明をして、どれが適当かを一緒に検討することになるのではないかとと思われます。
13	申込時質問	DOI	DOIの付与の仕組みについて詳しく教えて頂きたいです。	実務紹介(2)「機関リポジトリの実務と機能」の資料や動画が参考になるかと存じます。
14	当日質問	権利処理	「オープンアクセスと著作権」p12「本人の意思であることが確認できれば、押印やサインがなくとも構わない。」について。5年前ですが、「許諾書は自署で記載かつ原本を保管しておくことが望ましい。その方が裁判になった時により有効となる」と顧問弁護士に言われました。押印・サインの要否について、もう少し詳しく伺いしたいです。	見解が分かれるところかと思います。各機関で情報交換しつつ、どのようなあり方がよいか、検討していくことになるかと存じます。
15	当日質問	公開コンテンツの要望	WEKO3操作方法について説明動画公開予定とのこと、大変ありがたく存じます。人員削減の波をかぶり、リポジトリ作業員は一名のみ、前任者なし、異動で図書館業務自体まったくの初心者と言う方も多いと思います。動画については基本のキから、図書館情報システムの門外漢でもわかるように、簡単な説明こそをお願いしたいと切に望みます。	ご意見ありがとうございます。JPCOAR内で共有させていただきます。
16	当日質問	公開コンテンツの要望	内容確認のために登録アイテムのエクスポートを行いますが、エクスポートができないアイテムがあります。アイテム自体に問題があるのかと思いましたが、ツリーの場所を変更すると同じアイテムがエクスポート可能になります。どのような理由が考えられますか？	JAIRO Cloud部会から説明動画を公開予定です。
17	当日質問	公開コンテンツの要望	一括登録用フォーマット使用時に入力する内容のない欄について【後方に寄せる】【非表示にする】などカスタムしても登録作業に問題ありませんか？	JAIRO Cloud部会から説明動画を公開予定です。
18	当日質問	メタデータ	メタデータに関する質問です。当方の中でメタデータとは「データのデータ」であり、あるデータを定義づけるもの、説明といったやんわりとした認識を持っております。リポジトリ内でのメタデータとはどのようなものを指しているのでしょうか。メタデータの意味を明確にご教示いただきたいです。またリポジトリ関係の用語集はありますか。	実務紹介(2)「機関リポジトリの実務と機能」、また、「オープンアクセスの情報源」の資料や動画をご確認いただければと存じます。
19	当日質問	公開コンテンツの要望	MLへの投稿が特に多い既出のエラー・不具合などをざっとご説明お願いできればと思います。リリースノートでは拾いきれないという実感がありますので、初任の方でも「ここだけはまず押さえておいて」という内容を一覧化していただけると有難いです(例えばYYYY-MM-DD以外で入力するとアイテム詳細がエラーになる、等)	ご意見ありがとうございます。JPCOAR内で共有させていただきます。

番号	質問区分	カテゴリー	質問内容	回答
20	当日質問	公開コンテンツの要望	WEKO3一括インポート用データの効率的な作成方法についての説明動画があると大変ありがたく存じます。インポート用データの作成に多大な時間を要しておりますので、ぜひご検討いただけますと幸いです。	JAIRO Cloud部会から説明動画を公開予定です。
21	当日質問	OA推進	OA方針が未整備の状況なのですが、「OAIに関する情報を伝える」「OA化を支援する」役割を実行しても、学内で問題が起きそうで不安です。やはりまず方針整備を行うべきでしょうか。	方針を整備すべきかどうかは各機関それぞれで大きく悩むところであり、各機関でのベストプラクティスなどを共有しながら考えていくことになるかと思われます。JPCOARでも各機関の事例共有の機会を作っていきたいと考えています。直近ですと、図書館総合展にて、オープンアクセス加速化事業の事例共有などありますので、ぜひご参考ください。
22	当日質問	運営の要望	本日の研修の録画は後日公開されるご予定はありますでしょうか。	公開いたしました。JPCOAR公式YouTubeからご確認ください。 https://www.youtube.com/@jpcoarchannel8929
23	当日質問	システム連携	IRDBでハーベストされ各DBで検索できるようになるのに、ERDB-JPに登録する必要がまだよく分かりません。お手数をおかけしますが、再度説明いただけますと幸いです	講義中に取り上げたサービスプロバイダはあくまでも一例で、必ず連携しなければいけないわけではありませんが、ERDB-JPに登録した本の情報を連携しておくと、CiNii Booksで本文リンクが表示されるためメリットがあるかと思います。質問番号62で投稿いただいている情報も併せてご覧ください。
24	当日質問	権利処理	OAやIRが普及する以前に発行された紀要の論文を現在IRで公開している大学も多いですが、著作権上どういった処理がなされていることが多いのでしょうか	編集委員会から過去分も公開したい、という希望があり、1年の期限付きのオプトアウト（公開が基本で、要望があれば取下げ）で対応した事例があります。
25	当日質問	権利処理	「オープンアクセスと著作権」p8について、初歩的な質問で大変申し訳ございません。論文に各バージョンがあることは分かりますが、実際に提出されてきた論文がどのバージョンに当たるものか分かりません。（例えば、著者最終稿として提出されてきたものが、出版版と同じレイアウトであり本当にAMなのか怪しい等）見分け方を教えてください。	レイアウトやロゴで判断していただき、出版社版と同じレイアウトであるなどで違和感を覚えたら、論文ファイルを提供して下さった方に本当に著者最終稿かご確認いただくのが確実かと存じます。
26	当日質問	登録作業	講義2 p.14 「本文データの修正」について、JAIROCloudでこれらはどのようにできるのか、もう少し詳しく教えていただきたいです。マニュアルの参照ページをご教示いただく形で構いません。	修正した本文データで差し替える（旧データへはアクセス不可）／バージョン違いで修正した本文データを差し替える（旧データにもアクセス可）／差し替えはせず、内容記述などに注記として正誤表を記載／差し替えはせず、正誤表のPDFデータを既存のアイテムに追加で登録などの対応が考えられます。
27	当日質問	登録作業	講義1 p.13 アイテムを「非公開」とする際のお話で、「非公開インデックスに移す」というご説明がありました。JAIROCloudでこれらはどのようにできるのか、もう少し詳しく教えていただきたいです。マニュアルの参照ページをご教示いただく形で構いません。	インデックス作成時に「公開する」や「ハーベスト公開」といった欄のチェックを外すことで、そのインデックスはログインしたユーザーだけが閲覧できるようになります。アイテムの個別編集の際、インデックス指定のフローで公開のインデックスから非公開のインデックスに紐づけを変更して更新を完了すると、アイテム詳細画面の公開設定がPublicとなっていてOAI-PMH上は強制的にPrivate扱いになります。しかし、削除情報のハーベストもされなくなりますので、非公開インデックスに置きたい場合は、以下の手順で行うとよいです。 1. アイテムの公開設定を「Private」にする 2. 削除情報をIRDBにハーベストさせる 3. 個別編集を行い、インデックス指定のフローで非公開のインデックスのみを指定し、更新する
28	当日質問	ライセンス	「オープンアクセスと著作権」のp20で「ライセンシング」のお話がありましたが、これは基本的に著者にどのライセンスにするのか決めていただくことになるのでしょうか。皆様はどのように決められているのか教えていただきたいです。	投稿する雑誌の規定で決められていることもありますが、基本的には当該論文の著者に決めていただくことになります。
29	当日質問	権利処理	ゴールドOAの論文をリポジトリで公開することは法的には著者の許諾は不要でできるはずですが、著者が「リポジトリには載せてほしくない」と考えている場合、許諾をとらずにリポジトリへ公開すると問題が起きそうです。どのような対応・対策が考えられるでしょうか。	出版社ポリシーやライセンシングによって問題がないことを確認できる場合は登録してもよいとは思われますが、著者への連絡なしで登録する／登録後著者に登録の旨連絡する／登録に際して意向を聞くなどの運用が考えられ、どの運用をするかは各機関の方針によります。トラブルを避けるため、教員の許諾をベースとする、OA方針などで対応を定めておく、などの運用も考えられます。
30	当日質問	ライセンス	本学では紀要論文にライセンスを定めていないのですが、ライセンスを定めないことによるデメリット等はありませんでしょうか？	デメリットとしては、自由な頒布等ができないため、ライセンスが付与されているものに比べては流通しにくいことが考えられます。付与するかどうか、あるいはどのライセンスを付与するかは、各大学・機関や紀要の編集担当の部署等の判断によっており、また紀要の内容にも左右される部分かと思われます。
31	当日質問	システム連携	機関リポジトリの情報をOAIデータプロバイダリストに登録するとサービスプロバイダからアクセスされるようになる、との説明でしたが、そうすると外部からのアクセス（OAI-PMHのリクエスト）を無制限に許可することになるのですか？特定のサービスプロバイダのIPアドレスにのみアクセスを許可することはできるのでしょうか？	残念ながら、WEKO3ではそういった機能は提供しておりません。
32	当日質問	ライセンス	CCライセンスの使用について教えてください。CCライセンスを利用して著作物について利用の範囲を指定する場合、著作権者がそれらに基づいて自身で利用範囲を指定しさえすれば、CCライセンスを使用することについて何らかの機関への申請や登録などを行う必要はないのでしょうか。	ご指摘の通り、申請や登録を行う必要はありません。クリエイティブコモンズのFAQもご参照ください。 https://creativecommons.jp/faq/#b1
33	当日質問	登録作業	「機関リポジトリの実務と機能」の登録フロー（雑誌論文）のご説明の際、OA論文の場合は出版版の本文PDFファイルをリポジトリに登録すると伺いました。現在多くのリポジトリで、ストレージを使うにもかかわらず、本文URLではなく本文PDFファイルを登録しているのは、何か理由があるのでしょうか（DL数を確認したいなど）？	CiNiiなどの文献情報データベースで本文リンクがつくことや、論文情報を参照し本文ファイルを入手するという一連の流れが機関リポジトリ内で完結することなどがメリットとして挙げられるかと思われます。
34	当日質問	メタデータ	「機関リポジトリの実務と機能」のp14、本文データの修正に関連し、JPCOARスキーマには、バージョン更新に伴う履歴記載のためのメタデータ項目はないのでしょうか。	Ver.1では「15. バージョン情報」、Ver.2では「16. バージョン情報」というメタデータ項目があります。どちらも数値情報なので、変更した内容を記載される場合は、内容記述の項目を使うこともご検討ください。
35	当日質問	システム連携	様々な情報検索サービス機関とのシステム連携が重要とのお話でしたが、google (scholar)でヒットするようになる条件が何かあれば教えてください。このあたりの情報は既に参照しております。 https://repositories.webometrics.info/en/institutional	残念ながら、Googleのクローリングの仕組みは公開されていないため、確実なことがわからないというのが実情かと思われます。
36	当日質問	運営の要望	実務紹介(2)のご説明の際、p26の後に(参考)が表示されたのですが、事前配布資料には掲載されていません。メモできなかったので、参考URLをご教示ください。	更新した資料を再度公開いたしました。JPCOARウェブサイトからご確認ください。 https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/news/2024#news_20240830
37	当日質問	広報	OAで載せているのでリポジトリには載せなくていい、共著者確認・書類提出が煩雑だから…、という理由で著者がリポジトリ登録に積極的でないケースがまだまだあります。著者の啓蒙的な活動としてなにか活動をされているか、またどんな働きかけが有効だったかなど事例があればご紹介いただけると幸いです	定期的な広報やファイル提供依頼で周知をするとともに、リポジトリのこと以外でも教員の方と繋がりを作っておくことも有効だと思われます。
38	当日質問	メタデータ	「機関リポジトリの実務と機能」p19について、各プロバイダへの連携するメタデータ項目について、それぞれの必須項目がWEKO3で登録する際のどの項目に当たるのか対照表がありましたらご案内いただけますでしょうか。	対照表はないですが、 https://support.irdb.nii.ac.jp/ja/harvest の「データ連携」の項目がご参考になるのではないかと思います。
39	当日質問	感想・情報提供	質問ではないのですが、小規模大学事例、「本学も同じ！」と感じることが多かったです。また、私自身何の理解が不足しているかなど、大変参考になりました。ありがとうございました。	ご感想をお寄せいただき、ありがとうございます。
40	当日質問	リポジトリ運用	リポジトリの登録・設定変更などを日々行う際に、作業履歴を記録されているご担当者様がいらっしゃったら、どのような形式・情報を記録されているか伺いたいです。	一括登録に使ったファイルをそのまま保存しておく、登録内容をエクスポートする、Excel等で一覧を作成するなどの記録方法が考えられます。体制や用途にあった方法を選ぶことになるかと思われます。
41	当日質問	登録作業	初歩的な質問で恐縮ですが、JAIRO Cloud での博士論文のリポジトリ登録に関するマニュアルがございましたら、URL等をご教示いただけますと幸いです。	2023年度第4回JPCOAR Webinarの講義、「ハーベストエラー解消の手順」の資料の中で一部紹介されています。 https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/2000350 また、JAIRO Cloud部会から説明動画を公開予定です。
42	当日質問	DOI	新規でDOI付与を始める場合の手順について、分かりやすいマニュアルはどこにありますか？特にWEKO3の設定変更について、不明な点が多く困っています。	基本的にはまずIRDBの関連ページをご確認いただくことになるかと存じます。 https://support.irdb.nii.ac.jp/ja/application/jalc

番号	質問区分	カテゴリー	質問内容	回答
43	当日質問	リポジトリ運用	過去の事例の共有以前に、障害やバグなのか、それとも理解が及んでいないだけなのか、それを判断するのが難しく、毎回メーリスに投稿し、そこで判断を受けるまで分からないという状況です。もっと迅速に判断を行うにはどのようにすべきでしょうか。	ご意見ありがとうございます。JPCOAR内でなにかできることはないか検討してみたいと存じます。
44	当日質問	感想・情報提供	(感想です) 小規模大学でない場合であっても、リポジトリ関連業務は他業務よりも人員が削減されがちなのか、規模の割に人員が少ない場合もあり、結局のところ「規模に関係無くどなたにでも利用しやすいシステムである必要性」については、真剣に考えていく必要があるように感じました。	ご感想をお寄せいただき、ありがとうございます。
45	当日質問	講師への質問	横浜国立大学 野村様に質問です 貴学ではオープンアクセス方針で論文等のOA化を求められているとのことですが、学術雑誌論文のリポジトリ公開を研究者に打診して断られたことはありますか？ もしある場合、公開に同意してもらえよう何か働きかけはされていますか？ もしくはリポジトリ公開を断念されていますか？	(野村講師からの回答) 出版社のポリシーで著者最終稿のみ掲載を許諾されている場合に、校正の段階で内容の変更が生じて出版社版と著者最終稿の内容に相違があり、公開を断られる、などの事例がありました。お断りの場合は、基本的にはどういう理由で公開できないのかをヒアリングし、誤解があれば説明をして、理由がある場合には公開を取りやめる、などの運用をしています。研究分野によってオープンアクセスという概念に対する理解のレベルもそれぞれ違いますので、担当者レベルでの丁寧な説明・解説が必要なのかなと感じます。
46	当日質問	講師への質問	横浜国立大学 野村様に質問です。義務と研究者のプレゼンスが高まる、どちらの側面もあると思いますが、後者を打ち出しすぎると任意ならやらない、前者を強く打ち出しすぎると締め付けが強くなってしまい、中々進まないのではないかと学内で頭を悩ませています。貴学ではどのように対応を進めていったかより詳しく伺いたいです。	(野村講師からの回答) ご指摘の通り、どちらの側面もあります。そのためにも機関内で足並みを揃え、戦略的にオープンアクセス化推進を進めていくことが大事なのかなと考えます。その上で図書館員ができることは、義務・プレゼンスという理念的なものを超えて、まずはリポジトリサービスの実務部分について周知することだと思います。Web of Scienceや研究者総覧から確認できた機関内の研究成果に基づいて、自機関の教職員にファイル提供を依頼することもまた周知の手段のひとつとして捉えています。
47	当日質問	システム連携	紀要のIRDBへのハーベストがうまくいかず、国会図書館から検索できていない状況のものが 있습니다。この原因はIRDBのサイトにログインしてハーベスト結果を遡ってどこを確認する必要があるのでしょうか。(かなり前のコンテンツも含みます)国会図書館から利用できるようにするために必須項目のようなメタデータがあるのでしょうか。	IRDBログイン後の「マイコンテンツ」から、アイテムに付与されたOAI-idで検索することで、過去のハーベスト結果を確認することができます。OAI連携先にndlと記載されていればうまく連携されているはずで、記載されていない場合は連携されていない、ということになります。下記のページもご参照ください。 https://support.irdb.nii.ac.jp/ja/harvest
48	当日質問	講師への質問	横浜国立大学 野村様に質問です。「知らなければやっていないことと同じ」ということに変大共感したとともに、自機関のサービスの認知度の低さに頭を悩ませております。リポジトリの広報等、どのように研究者へ浸透させているのかご教示いただけますと幸いです。	(野村講師からの回答) リポジトリへ登録するためにファイルを提供した/直接リポジトリ担当者とやりとりをしたという経験がそのまま周知に繋がると考え、月一回に論文ファイル提供依頼を発送しています。それと並行して、研究推進部との連携として、論文執筆段階時点で行われているAPC支援の際に、発表予定の論文をリポジトリに登録可能であることを明記し、周知しています。
49	当日質問	講師への質問	OA化推進における図書館と研究推進課の連携が重要であることは理解しておりますが、リポジトリ登録に当たり両者間で具体的にどのようなタスクがあり、どのような手順で進めればよいのか、といった方向性が不明瞭な部分があります。フローチャートの様にリポジトリ業務・OA推進における部局間の指針が必要であると感じます。	(野村講師からの回答) 部局間で業務の所掌範囲を明瞭化することは必要であると考えます。ただし、どの部局がどのタスクを受け持つかの切り分け方については、各機関それぞれの性格・風土に依る部分が大きいかと思います。たとえば横浜国立大学の事情として、2023年度中に研究データポリシー策定のために学内の多くの部局を巻き込んだワーキンググループを作成して検討を進めるなど、学内における図書館の役割というものがある程度明確になっている部分がありました。(余談ですが、横浜国立大学の研究データポリシーについて、図書館が主導となって策定を進めています) また、内閣府の即時OA義務化要請や、文部科学省のオープンアクセス加速化事業などの大きなトピックがあることも(後者は公募申請にあたり、研究データポリシーと同様ワーキンググループで協議をしています)、部局間の連携を深める追い風になったと考えております。
50	当日質問	運営の要望	大変申し訳ないのですが、接続状況が悪く、冒頭を聞き逃しております。配布資料の置き場所等、再度ご教示いただけますと幸いです。	公開資料はJPCOARウェブサイトからご確認ください。 https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/news/2024#news_20240830
51	当日質問	メタデータ	講義資料「実務と機能」p.20について、このページでいうメタデータというのは「論文タイトル」また「dc:title」どちらのことを指しますでしょうか。用語があまり理解できておらず申し訳ございません。ご教示いただければ幸いです。	JPCOARスキーマに照らすと、「タイトル」は「スキーマ項目(名)」で、その項目に「要素名」の「dc:title」と、「属性」の「xml:lang」とが合わさって構成されています。 メタデータは、タイトルだけでなく、講義(2)P.20の吹き出しで囲っている項目のほか、出版者名・謝辞・助成情報なども例示している雑誌論文のメタデータの一要素となります。 詳しくは、JPCOARスキーマガイドラインをご覧ください。 https://schema.irdb.nii.ac.jp/ja/schema
52	当日質問	権利処理	初歩的な質問ですが、Elsevier社は博士論文は出版社版を機関リポジトリで公開可とするポリシーであると知りました。Sherpa Romeoで確認しOA出版した場合に出版社版を公開可となっても、博論であればElsevier社のポリシーに則りOA出版していただく必要も出版社版をリポジトリ公開可と判断してよいのでしょうか。	博士論文としてのファイルがあれば、そちらを公開していただくのがよいと思われます。OA出版されていない出版社版を登録する場合には、著者本人を通じてか、図書館から出版社に許諾範囲を確認していただくとうよいと思います。
53	当日質問	講師への質問	西川先生へ質問です。プレプリント＋オープン・ピア・レビューは学術雑誌そのものの価値から、研究内容そのものの評価に転換する1つの契機のように感じました。一方で研究評価方法の改善が必要と先生も仰っていましたが、どのような評価が現状の学術雑誌が担う認証や評価機能の代替えになるか、お考えの指標等があればお教えください。	(西川講師からの回答) 研究評価に関して、ピアレビューによる定性的評価をメインにして、論文数などの量的指標はサブにすべきであると最近をよく言われています。オリジナルの素晴らしい指標を考えるのではなく、ピアレビューを主にしていくのが良いというのが近年のトレンドです。ただ、ピアレビューだけではなく、他の様々な指標も組み合わせる必要があると思われます。
54	当日質問	講師への質問	西川先生に質問です。OA運動の経緯には、研究者や大学図書館の行動だけでなく、大手出版社やデータベース会社の動きも関わっていると思います。ジャーナルの購読価格があまり下がらない、APCも意外と高騰する、IFを算出しているのは一民間企業だ、といった点について、出版社はこれからどんな対応をしてくるとお考えでしょうか。	(西川講師からの回答) 競争法で分割、といった政策面での動きが出ない限りは、現状からはそんなに変わらないのではないのでしょうか。使う側の行動が変われば、出版社の動きも変わると思います。
55	当日質問	講師への質問	もし国が全面的に強力にOA化を推進するということであれば、国主導で「査読機能付きの」セントラルリポジトリのようなものを用意するのが筋であると考えていたのですが、この方向性には問題があるのでしょうか。	(西川講師からの回答) 人文学専門のダイヤモンド・オープンアクセス出版社、Open Library of Humanities (OLH) 社が設立されたイギリスの例が参考になると思います。イギリスでは2007年からOAを義務化していますが、分野によってニーズが異なり、その分野の慣行が政策の方向性に合致するかどうかで有利不利ができてしまいます。人文学は不利になった側で、その不利を埋めるために作られたのがOLH社です。集権的な1つのリポジトリを作っても、分野によって事情は大きく異なり、うまく使われず機能不全に陥る恐れがあります。また、こうしたリポジトリは長期運営が前提となりますが、運営の予算確保が難しく、研究者の益にもならないのではないのでしょうか。
56	当日質問	運営の要望	情報源の紹介にて用語集があるとおっしゃっていたかと存じますが、資料に掲載されておりません。再度ご教示いただけますでしょうか。よろしく願い致します。	更新した資料を再度公開いたしました。JPCOARウェブサイトからご確認ください。 https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/news/2024#news_20240830

番号	質問区分	カテゴリー	質問内容	回答
57	当日質問	OA推進	根本的に雑誌に掲載されているものをあらためてリポジトリに載せる意図が理解できません。またこの流れは出版社は良い気持ちでおられるのでしょうか？	論文をリポジトリに登録することで、大学としての研究成果の発信や、ブランディングに繋がると思われます。また、本文ファイルを登録することは、CiNiiなどの文献情報データベースで本文リンクがつくことや、論文情報を参照し本文ファイルを入手するという一連の流れが機関リポジトリ内で完結することなどがメリットとして挙げられます。 また、多くの出版社は、自社のコンテンツに許諾している取り扱いをポリシーとしてまとめているので、その範囲内でリポジトリ等に論文を登録することは問題がないと考えていると捉えることができるかと存じます。
58	当日質問	公開コンテンツの要望	jairo cloud,WEKO,DOI,IRDB,メタデータ などのドキュメントがそれぞれバラバラに点在しており、全てを精通したうえで、自館の日常業務に落とし込むのは大変難しいという認識です。	ご意見ありがとうございます。JPCOAR内で検討させていただきます。
59	当日質問	OA推進	本当に初歩的な質問で申し訳ないのですが、リポジトリに載せるべき論文がどのようなものなのか、基本的なところに自信がありません。グリーンOAやゴールドOAについても色々なところでご説明いただいておりますが、実際の論文がどれに該当するのかわかれば判断できるのでしょうか。初心者でもわかりやすい資料があれば教えてください。	リポジトリ掲載対象の論文としては、所属機関で学位を認定された博士論文、所属機関で刊行された紀要論文、所属機関の構成員が執筆した学術雑誌論文などが考えられますが、どのようなコンテンツをどこまで掲載するかの基準を示すものがオープンアクセス方針といえます。 また、ゴールドOA論文は、出版社が購読料なしでオープンアクセスにしている論文のことです。グリーンOAの論文は、リポジトリなどの非営利の媒体で無料で公開されて初めてグリーンOA論文となります。
60	当日質問	その他	オープンアクセスジャーナルの仕組みのひとつであるMDPI(Multidisciplinary Digital Publishing Institute)の扱い・評価については日本ではどのようになっていますか？ 投稿する教員を散見するようになりました。	各出版社・ジャーナルが投稿先としてふさわしいかどうかは、各種のツール(Think, Check, Submitなど)やホワイトリスト・ブラックリストを参照していただいて総合的に判断していただくことになるかと思います。
61	当日質問	講師への質問	西川先生に質問です。研究評価方法改革の必要性、S2Oモデル、Open Library of Humanity等のお話、勉強になりました。リポジトリの構築では不十分な状況、学術機関と民間出版社両者の協働の在り方を踏まえ、学術機関・大学図書館全体は具体的にどのような方向性で、どのような事に取り組んでいけば良いのでしょうか。	(西川講師からの回答) どういった機関に所属しているかによっても違ってきます。日本でもOA義務化方針が動き始めていますが、イギリスの事例が参考になります。イギリスでは人文学のOA推進が苦しい状況になり、そのやり方に応じた人文学の出版が必要になりました。日本でも、全体として一律にこうなる、ということではなく、分野などの単位で対応に困る研究者が出てくると思いますので、大学図書館はそうした分野。研究社に寄り添って考えていくのが良いのではないかと思います。ジャーナル出版に関するソフトの構築など、学術書のOA化に対応していく話が出てくるかもしれません。共同事業化などの事例も見て、大学図書館で対応できることを選択していくことになると思います。
62	当日質問	感想・情報提供	ERDB-JPに登録いただくことで、国内外のディスカバリーサービスやCiNii Books等でも検索できるようになります。雑誌のタイトル単位の目録情報を流通させることができる、とお考えください。参考： https://www.nii.ac.jp/userimg/libraryfair2016/2016_LFB_4.pdf	参考情報をお寄せいただき、ありがとうございます。
63	当日質問	広報	本学ではOA方針どころか、リポジトリのことを知らないといった教員もいるような状況です。今日のお話のことを「大学図書館から」とであると、真剣にお話を聞いていただけないのですが、直接大学や教員(研究者)に本日のようなことを説明されるようなことはないのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。JPCOAR内で検討させていただきます。
64	当日質問	感想・情報提供	(コメント:JPCOARとかこれから委員会とかERDB-JPとかIRDBとか乱立して機関側から見てもわかりにくい、というには同意します。なんとかしたいです。)	ご感想をお寄せいただき、ありがとうございます。